



今も2輪
レースを楽しむ
腰山峰子さん
（尼崎市）

現在、鈴鹿市役所には翌年の第2回大会に同じコンビで参戦し、完走したマシンを展示中です（10月30日）まで途中展示中断あり。女性ライダー達が輝いた45年前の夏を実感してください。

■中野能成（鈴鹿モータースポーツ友の会事務局）

ひと・まち・モータースポーツ

女性ライダーが輝いた夏ー鈴鹿4耐

鈴鹿8時間耐久レースが、それまでのノンタイトルから世界耐久選手権に昇格した1980年、アマチュアライダーの祭典として誕生したのが鈴鹿4時間耐久レース（鈴鹿4耐）でした。その頃からのバイクブームもあって人気は瞬く間に沸騰、数多くの有力ライダーを輩出しました。

鈴鹿4耐黎明期に、ひとときわ注目を集めたのが女性ライダーの挑戦。実はその数年前まで女性には2輪レースには出場できないというルールでしたが、さまざまな働きかけと活動実績によってその壁を破り、女性に2輪モータースポーツの門戸を開いたのが堀ひろ子さん（故人）でした。腰山（旧姓今里）峰子さんと組んで出た第1回大会では、予選でポールポジションを獲得し、大きな反響を呼びました（決勝はリタイア）。

地域づくり
研修生が
つくる

地域のホットな情報をお届け

地域づくり Navi

vol.
57

深伊沢地域づくり協議会

「わらアート」を始めた
きっかけと想い

深伊沢地域づくり協議会では、米作り体験事業として、田植えや稲刈り、もちつき大会などを行ってきました。さらに地区の人たちが集まれる場を作ろうという思いがきっかけで「わらアート」が生まれました。「わらアート」作りを通じて、地区の人たちの交流が生まれ、人と人とのつながりや絆がより深まるようにという思いで、この取り組みを続けていきます。

参加した人たちの声

「わらアート」作りに参加した方からは、「仲間になってよかった。次回も参加したい」「わらアートのアイデアは素晴らしい」「女性の参加が増えにぎやかになった」などのうれしい声がありました。また、「もっと若い人が参加できるように工夫することが必要である」などの改善に向けた意見もありました。



深伊沢地域
づくり協議会
会長
市川さん



もちつき
大会



わらアート
の
「かえる」

地域づくり研修生の一言

「わらアート」作りに参加し、深伊沢地区の絆の強さを感じることができました。「わらアート」作りには、地域の方たちの細かい工夫がたくさんありますので、皆さんもぜひ参加してみてください。

地域づくり
Photo

問合せ
地域協働課
059-382-8695

明治11年創刊 三重の県紙



伊勢新聞

<https://www.isenp.co.jp>



三重のニュース
いっぱい!!

購読のお申し込み、お問い合わせは、伊勢新聞社販売部へ。（TEL 059-224-4400）